

2019年2月1日

記者各位

**超高精細映像作品「8K 花美 HANABI」が
米国ルミエール・アワードで Best Demonstration of 8K を受賞**

当社が去年2月に企画・実施した「MBS 京都知新×未生流笹岡コラボいけばな」で公開した超高精細映像作品「8K 花美 HANABI」が、米国の先進映像協会米国本部が実施する「ルミエール・アワード 2019」にて、Best Demonstration of 8K（最優秀 8K デモンストレーション賞）を受賞しました。この作品は去年11月、国内の優れた先進映像コンテンツを表彰する「ルミエール・ジャパン・アワード」でUHD部門（8K）の優秀作品賞を受賞しており、今回、国内だけでなく海外からも高く評価されました。

ルミエール・アワードは、先進映像協会米国本部が主催する国際的な表彰活動で、VR、AR、3D、高精細映像などの先進技術を用いた優れた映像作品に対して与えられます。日本から出品されたルミエール・ジャパン・アワード受賞作品のうち本作品のみが入賞し、1月30日にワーナー・ブラザーズ・スタジオ（カリフォルニア州ハリウッド近郊）で授賞式が行われました。作品の概要は下記の通りです。

記

「8K 花美 HANABI」

「未生流笹岡」家元 笹岡隆甫氏の生けた全ての花が蕾から満開になるまでを、72時間かけて超高解像度カメラ「PHASE ONE（1億100万画素）」で撮影しました。カメラは引きの構図で1台、寄りの構図で2台の計3台を使用し、撮影されたのべ8,491枚におよぶ静止画像の中から、1枚1枚を動画として繋げるタイムラプスという手法で映像化しました。また、音響もバーチャル 22.2ch サラウンドサウンドシステムを採用し、超高精細の8K映像とあわせて作品の臨場感を高めました。

【いけばな】	未生流笹岡 家元	笹岡隆甫	
【制作・企画協力】	MBS 毎日放送	中野雪子	
【技術協力】	株式会社ソシオネクスト	大西隆之	貴田宏幸
【音響】	シネマダブモンクス	曾我大穂	
	音 選 屋	前田典哉	
【スタッフ】	編 集	亀村佳宏	
	撮 影	中田 昭	津藤秀雄
	題 字	臼井 彰	
	制 作	根本 弥	谷村大輔
【製作・著作】	DNP 大日本印刷		

※『未生流笹岡』家元 笹岡隆甫氏

1974年京都生まれ。京都大学大学院修了。3歳より祖父である二代家元である祖父笹岡勲甫の指導を受け、2011年、三代家元を継承。舞台芸術としてのいけばなの可能性を追求し、日本—スイス 国交樹立150周年記念式典をはじめ、海外での公式行事でもいけばなパフォーマンスを披露。2016年には、G7伊勢志摩サミットの会場装花を担当するなど、国内外で幅広く活躍し、伝統文化やいけばなの世界をひろめている。著書に『いけばな—知性で愛でる日本の美』『百花の教え』など。

以上